

旧山中家住宅

旧山中家住宅は、浜崎の多くの住宅と同様に、何世代にもわたって受け継がれてきたものだ。母屋は 1931 年の建築、内部にある蔵は 1771 年の建築である。浜崎のメインストリートである本町筋通りに面しており、母屋には京町家風の本二階建てがある。建物は狭いが、ブロックを挟んで反対側の通りまで伸びている。典型的な浜崎町家のデザインである。

内部にある蔵は、火災などの災害から中身を守るために、厚い土壁で覆われている。2 つの出入り口があるのは、住宅の大きさに合わせた珍しいデザインだ。

山中家は商人で、家の前側が店になっていた。萩の名産品であるイワシの干物をはじめとする水産物を扱っており、主に京都や大阪の客を中心に販売していたが、全国各地にも出荷していた。現在は廃業しているが、1870 代から 1950 年代まで繁栄していた。

現在は、浜崎が商業地として賑わっていた頃の全盛期の品々が展示されている。中でも、壁に掛けられた昔のポスターやカレンダーは特に興味深い。1915 年のカレンダーには、大阪商船株式会社の広告が掲載されており、着物姿の女性がハンカチを振って恋人の船出を見送る様子が描かれている。また、京都の錦市場で商人をしていた島津幸三郎（年代不詳）の店の広告では、モデルが大正時代に流行した色とりどりの派手な着物を着ている。

住所：山口県萩市浜崎 209-1

電話番号：0838-22-0133

営業時間：午前 9 時から午後 5 時

入場無料

アクセス：「大船倉入口」バス停から徒歩 3 分（萩循環まあるバス東回り）

Google マップのリンクは[こちら](#)